

例：特別養護老人ホームの入所者における利用者負担額(月額)比較表



注１）第４階層以上の「介護報酬一割負担額」は、要介護度５の人が、利用した場合であり、要介護度により異なります。

注２）介護保険における所得階層について

・第1段階　　：　①本人及び世帯全員が住民税非課税であって、老齢福祉年金の受給者　②生活保護受給者

・第2段階　　：　本人及び世帯全員が住民税非課税で、合計所得金額＋課税年金収入額が８０万円以下の方

・第3段階　　：　本人及び世帯全員が住民税非課税で、第2段階以外

・第4段階以上：　上記以外で、合計所得金額により段階は異なります。

複数人（２～４人）ひと部屋(多床室)とは

一部屋２人～4人を定員とし、施設全体により集団でお世話するものです。

（良い点）

・ユニット型の部屋に比べ、部屋代が安い。(別表のとおりです。)

・同室の方がいますので、孤独感や寂しさがない。

・同室の方がいますので、突然の発作や変事に気づきやすい。

・自分の面会者が少なくても、同室の方の面会者との会話も楽しむことができる。

（悪い点）

・就寝時、他の人が起きることやケアを受けることで目が覚める。

・おむつ交換時の臭気が部屋中に漏れる場合がある。

・家族の訪問時、同室者に気兼ねして自由に会話ができない場合がある。

・複数人同室のため、インフルエンザ等の感染症が、うつる可能性が高くなる。

個室・ユニット型とは

施設の個室を１０人程度のグループにわけ、それぞれを一つのユニット(生活単位)として、少人数で生活をともにしながら、ユニットごとに配置された担当職員がお世話するものです。(自宅での生活に近い形でのお世話を行なおうとするものです。)

（良い点）

・入所者のペースでゆっくり関わり、個人の要望に対応しやすくなる。

・利用される方の好みの部屋の温度、就寝時の明るさなど、これまでの生活習慣の継続ができる。

・家族の訪問及び会話が、他を気にせずできるなど、プライバシーの確保ができる。

・インフルエンザ等の感染症の拡大防止ができる。

（悪い点）

・複数人ひと部屋(多床室)に比べ、部屋代が高い。(別表のとおりです。)

・就寝時等、孤独感や寂しさがある。

・複数人ひと部屋(多床室)に比べ、突然の発作や変事に気づきにくい。

・自室から出ないと他の人との関わりができない。